## 第2回講義 資料2

## (資料2-①)

(*n,p*) が連鎖探索法によって2つの角の和であらわすとき, ただ1通りしかない ときはどんな場合か。

## フェルマーの2平方和の定理

素数 P が2または4m+1 型  $\Leftrightarrow$  素数 P は2つの平方数の和

## 100以下の素数 P は

P=2または P=4m+1型は以下の12通り。

$$\begin{array}{l} P=2\cdots\cdots P=1^2+1^2\cdots\cdots (1,1)\\ P=5\cdots\cdots P=1^2+2^2\cdots\cdots (1,2) \\ \exists t. \\ P=13\cdots\cdots P=2^2+3^2\cdots\cdots (2,3) \\ \exists t. \\ P=17\cdots\cdots P=1^2+4^2\cdots\cdots (1,4) \\ \exists t. \\ \exists t. \\ P=29\cdots\cdots P=2^2+5^2\cdots\cdots (2,5) \\ \exists t. \\ \exists t$$

 $P=97\cdots P=4^2+9^2\cdots (4, 9)$  \$\text{\$\text{\$\text{\$}}(9, 4)\$}